

第17回地本大会開催！

7月10日、多くの傍聴者、OB、来賓の参加の中、第17回J R東海労新幹線関西地本の定期大会が開催されました。地本康乗副委員長の司会で始まり、議長団に大阪第一運輸所分会の高橋代議員、名古屋車両所分会村上代議員が選出され議事が進行されました。

小林地本委員長は、「昨年暮れ亡くなられた松崎明さんの教訓である社会主義の理念を捨てずヒューマニズムをもって、リーダーたる者は逃げず、責任を持ち、常に弱い者の立場に立って運動を進めよう！」と訴えかけられ、さらに「働く者が主人公となる社会の実現に向けて広範に連帯を創り出そう！」「職場で労働者魂を発揮して更なる組織拡大を実現しよう！」と力強い挨拶が述べられました。

質疑では、**大二運分会選出の浦谷代議員からは・・・**

東海労結成20年目と分会結成10年目のこれまでの分会としての闘い、そして運輸所になってからの大二運分会の闘いについての熱い思い、松崎明さんの教訓についてが述べられ、さらに繰り返しかけられる恣意的なボーナスカット・昇給カット攻撃で、夏季手当も6名の組合員が不当で恣意的なボーナスカット・昇給カット攻撃を受けた。

ハッキリしていることは会社は東海労組合員の60歳以上の雇用をしないということで断じて許されない！と怒りの発言がありました。また、些細なことをあげつらいボーナスカット・昇給カットをしてくる管理者が、5月28日あわや大惨事にもなりかねない大一両所発車の際の回送列車における管理者の連絡不徹底に対する発言もありました。

続いて同じく**大二運分会選出の下茂代議員からは・・・**

酒気帯びをデッチ上げ、不当処分による組織破壊攻撃を行った会社に立ち向かう東二運分会とその当事者の斎藤書記長に対し、同じ運輸所で働く仲間として共に連帯して闘う決意と、それに対する大二運分会の取り組みの現状について述べられました。また、福島第一原発事故の際、家族に対して放射能情報などのマスコミ報道の矛盾を自らのこれまで培ってきた反原発の労働者的感性においてアドバイスしたこと、本人自ら熊取の京都大学原子炉実験所見学に参加しての実践と教訓が生き生きと発言されました。